



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月12日

上場会社名 株式会社チノー 上場取引所 東
 コード番号 6850 URL <http://www.chino.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 苅谷嵩夫
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長兼社長 (氏名) 斉藤颯是 TEL 03-3956-2115
 室長
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	7,736	△11.5	△39	—	7	△98.2	△98	—
24年3月期第2四半期	8,736	21.1	426	177.8	426	307.5	148	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △180百万円 (ー%) 24年3月期第2四半期 45百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△2.35	—
24年3月期第2四半期	3.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	20,204	12,981	61.5
24年3月期	20,946	13,433	61.4

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 12,418百万円 24年3月期 12,861百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	△1.2	540	△32.9	620	△26.1	310	11.2	7.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有

新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）株式会社山形チノー

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 有

④ 修正再表示： 無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項「(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期2Q	47,800,580株	24年3月期	47,800,580株
25年3月期2Q	5,679,122株	24年3月期	5,870,896株
25年3月期2Q	42,026,012株	24年3月期2Q	42,934,289株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P. 3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10
(7) 重要な後発事象	11
4. 補足情報	12
(1) 生産実績	12
(2) 受注実績	12
(3) 販売実績	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災及び原発被災から一年以上を経ましたが、瓦礫処理は進まず、景気の下支え要因の復興需要も本格化せず、また、外需も欧州の債務危機や新興国経済の鈍化で円高が定着し輸出が減少して景況感が悪化、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経営環境のもとで当社は社内改革とグループの再編を進め、本年4月に(株)山形チノーを当社の事業所として統合、これにより国内における生産体制の再編はほぼ完了しました。

また、販売面では東北地区の復興に資するため、仙台営業所を拡張、増員し、南九州にも新たなサービス拠点を設置して、営業と連携して活動する体制を整えました。

海外においては、成長著しいアセアン地区の拠点としてタイに現地法人を設立し、周辺諸国の需要拡大を図るべく積極的な活動を展開しました。

また、中国においては、「上海大華一千野儀表有限公司」「千野測控設備(昆山)有限公司」の現地法人2社がありますが、平成25年6月の合弁期間満了を期に、前者は販売子会社、後者を機器の生産と計装システムの海外供給拠点とするべく再編に着手しました。

当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高は7,736百万円(前年同四半期比11.5%減)となりました。利益面につきましては営業損失は39百万円(前年同四半期は営業利益426百万円)、経常利益は7百万円(前年同四半期は経常利益426百万円)、四半期純損失は98百万円(前年同四半期は四半期純利益148百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①計測制御機器

売上高は3,178百万円(前年同四半期比3.2%減)、セグメント利益(営業利益)は497百万円(前年同四半期比11.6%減)であります。

②計装システム

売上高は2,270百万円(前年同四半期比24.2%減)、セグメント損失(営業損失)は40百万円(前年同四半期営業利益263百万円)であります。

③センサ

売上高は1,830百万円(前年同四半期比9.9%減)、セグメント利益(営業利益)は172百万円(前年同四半期比40.4%減)であります。

④その他

修理・サービス等の売上高は457百万円(前年同四半期比6.5%増)で、セグメント利益(営業利益)は8百万円(前年同四半期比86.9%減)であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて742百万円減少し、20,204百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ856百万円減少し、13,534百万円となりました。主な増減は、たな卸資産の増加390百万円、受取手形及び売掛金の減少970百万円であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ113百万円増加し、6,669百万円となりました。このうち有形固定資産は39百万円増、無形固定資産は106百万円増となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて290百万円減少し、7,222百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ221百万円減少し、5,227百万円となりました。主な要因は支払手形及び買掛金の減少335百万円であります。

固定負債は、長期借入金の減少等があり前連結会計年度末に比べ68百万円減少し1,994百万円となりました。
(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ452百万円減少し、12,981百万円となりました。主な要因は剰余金の配当300百万円であります。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは前年同四半期の208百万円の収入と比べ412百万円増加し621百万円の収入となりました。税金等調整前四半期純損失は35百万円ですが、売上債権の減少928百万円、減価償却費317百万円等が主な増加要因となりました。一方、減少要因は、たな卸資産の増加416百万円、仕入債務の減少310百万円等であります。

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは前年同四半期の120百万円の収入と比べ660百万円減少し540百万円の支出となりました。主な支出は有形固定資産の取得298百万円、投資有価証券の取得178百万円等であります。

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは前年同四半期の324百万円の支出と比べ57百万円多い381百万円の支出となりました。これは主に長期借入金の返済による支出73百万円、配当金の支払298百万円等による資金の減少によるものであります。

これらの結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は前連結会計年度末4,533百万円に比べ328百万円減少し、4,204百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年5月14日に公表いたしました平成25年3月期の業績予想を修正しております。詳細は、平成24年11月6日に公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

株式会社山形チノは平成24年4月1日付で当社を存続会社とした吸収合併により、第1四半期連結会計期間から連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,543,050	4,214,442
受取手形及び売掛金	5,659,336	4,689,221
有価証券	—	15,043
商品及び製品	969,013	996,245
仕掛品	933,845	1,059,656
原材料及び貯蔵品	1,727,099	1,964,569
その他	565,016	600,770
貸倒引当金	△6,470	△5,097
流動資産合計	14,390,891	13,534,850
固定資産		
有形固定資産	3,542,304	3,581,464
無形固定資産		
のれん	222,846	207,677
その他	337,311	459,245
無形固定資産合計	560,158	666,922
投資その他の資産		
その他	2,453,187	2,420,910
貸倒引当金	△1	△2
投資その他の資産合計	2,453,186	2,420,907
固定資産合計	6,555,648	6,669,294
資産合計	20,946,540	20,204,145
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,312,251	2,976,769
短期借入金	858,951	830,213
未払法人税等	113,100	38,952
賞与引当金	414,118	432,157
役員賞与引当金	12,000	—
その他	738,486	949,420
流動負債合計	5,448,909	5,227,513
固定負債		
長期借入金	270,440	180,859
退職給付引当金	1,378,140	1,382,355
役員退職慰労引当金	175,369	190,724
その他	239,792	241,026
固定負債合計	2,063,741	1,994,965
負債合計	7,512,651	7,222,478

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,292,027	4,292,027
資本剰余金	4,072,140	4,072,140
利益剰余金	6,345,269	5,941,554
自己株式	△1,694,336	△1,648,862
株主資本合計	13,015,101	12,656,860
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,415	△40,757
為替換算調整勘定	△149,851	△197,279
その他の包括利益累計額合計	△153,267	△238,036
少数株主持分	572,054	562,842
純資産合計	13,433,888	12,981,666
負債純資産合計	20,946,540	20,204,145

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	8,736,968	7,736,056
売上原価	5,941,099	5,577,285
売上総利益	2,795,868	2,158,770
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	952,505	871,689
賞与引当金繰入額	168,945	166,993
退職給付費用	69,173	71,289
役員退職慰労引当金繰入額	31,904	25,355
研究開発費	216,810	173,519
貸倒引当金繰入額	457	—
その他	929,870	889,267
販売費及び一般管理費合計	2,369,667	2,198,114
営業利益又は営業損失(△)	426,201	△39,343
営業外収益		
受取利息	14,241	15,609
受取配当金	10,503	11,607
保険返戻金	—	41,276
その他	30,693	30,498
営業外収益合計	55,438	98,991
営業外費用		
支払利息	5,499	6,306
為替差損	22,154	29,015
その他	27,110	16,631
営業外費用合計	54,764	51,953
経常利益	426,874	7,693
特別利益		
投資有価証券償還益	7,636	—
固定資産売却益	147	231
その他	697	—
特別利益合計	8,481	231
特別損失		
固定資産処分損	73,920	2,545
出資金評価損	—	4,999
退職給付制度終了損	27,592	—
投資有価証券評価損	8,934	35,806
その他	945	—
特別損失合計	111,392	43,350
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	323,964	△35,425
法人税等	136,416	36,108
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	187,547	△71,533

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主利益	39,363	27,214
四半期純利益又は四半期純損失(△)	148,184	△98,748

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	187,547	△71,533
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,770	△37,341
為替換算調整勘定	△159,126	△71,228
その他の包括利益合計	△142,355	△108,569
四半期包括利益	45,192	△180,103
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	125,267	△183,518
少数株主に係る四半期包括利益	△80,074	3,414

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	323,964	△35,425
減価償却費	322,874	317,615
のれん償却額	27,889	15,169
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△962	△1,372
受取利息及び受取配当金	△24,744	△27,217
支払利息	5,499	6,306
投資有価証券評価損益(△は益)	8,934	35,806
売上債権の増減額(△は増加)	225,746	928,928
たな卸資産の増減額(△は増加)	△524,002	△416,900
仕入債務の増減額(△は減少)	27,117	△310,708
その他	△52,731	161,436
小計	339,585	673,638
利息及び配当金の受取額	24,471	27,217
利息の支払額	△5,499	△6,306
法人税等の支払額	△149,710	△73,054
営業活動によるキャッシュ・フロー	208,846	621,494
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	50,000	—
有形固定資産の取得による支出	△443,359	△298,100
無形固定資産の取得による支出	△43,697	△170,003
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△81,089	△178,899
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	700,000	—
保険積立金の積立による支出	△26,604	△23,868
保険積立金の払戻による収入	—	146,855
その他	△35,132	△16,564
投資活動によるキャッシュ・フロー	120,116	△540,582
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△80,175	△42,715
長期借入金の返済による支出	△3,000	△73,268
自己株式の取得による支出	△1,383	△868
自己株式の売却による収入	—	46,342
配当金の支払額	△217,052	△298,451
少数株主への配当金の支払額	△22,957	△12,626
財務活動によるキャッシュ・フロー	△324,569	△381,588
現金及び現金同等物に係る換算差額	△62,117	△27,932
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△57,724	△328,608
現金及び現金同等物の期首残高	3,686,216	4,533,050
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,628,491	4,204,442

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	計測制御 機器	計 装 システム	センサ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,282,376	2,993,973	2,031,211	8,307,561	429,406	8,736,968
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,282,376	2,993,973	2,031,211	8,307,561	429,406	8,736,968
セグメント利益	562,221	263,617	288,704	1,114,543	64,290	1,178,834

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、修理・サービス等を含んでおりま
す。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,114,543
「その他」の区分の利益	64,290
全社費用(注)	△752,633
四半期連結損益計算書の営業利益	426,201

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	計測制御 機器	計 装 システム	センサ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,178,174	2,270,226	1,830,324	7,278,725	457,330	7,736,056
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,178,174	2,270,226	1,830,324	7,278,725	457,330	7,736,056
セグメント利益又は損失 (△)	497,068	△40,252	172,078	628,894	8,426	637,320

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、修理・サービス等を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	628,894
「その他」の区分の利益	8,426
全社費用(注)	△676,664
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△39,343

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更したため、報告セグメントの減価償却方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しています。

これによるセグメント損益への影響は軽微であります。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	金額(千円)	前年同四半期比(%)
計測制御機器	3,420,939	△4.5
計装システム	1,773,455	△26.1
センサ	1,568,359	△10.9
その他	202,696	+30.9
合計	6,965,451	△11.8

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 金額は、見込販売価額で示してあります。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
計測制御機器	3,207,037	△3.5	530,810	△19.1
計装システム	2,697,105	△13.5	2,278,769	+15.9
センサ	1,939,892	△10.2	530,780	△9.3
その他	440,882	+7.5	73,712	△3.9
合計	8,284,916	△8.1	3,414,069	+4.0

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	金額(千円)	前年同四半期比(%)
計測制御機器	3,178,174	△3.2
計装システム	2,270,226	△24.2
センサ	1,830,324	△9.9
その他	457,330	+6.5
合計	7,736,056	△11.5

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。